



男声合唱
ジョイントコンサート

*Male
Chorus
Joint
Concert*

男声合唱団「響」
男声合唱団「昂」
SINGERSなも
クール・ジョワイエ
グランフォニック

2006 6/4 [日]

愛知県芸術劇場コンサートホール



主 催：男声合唱ジョイントコンサート実行委員会
後 援：朝日新聞社 愛知県合唱連盟

ごあいさつ

本日は“男声合唱ジョイントコンサート”に
ご来場賜り、誠にありがとうございます。
さて、本日の男声合唱の催しですが…、
私はかねてから“名古屋の男声の合唱仲間が一堂に会して、
日頃の練習の成果を競演する場が持てないものだろうか?”
と思っておりました。今回5団体の賛同を得まして、
華々しくもこのステージに立てますことは至福の喜びでございます。
今までの合唱界などとは味わいを異にする、男声合唱の醍醐味を
存分に堪能していただきたいと思っております。
また、国内外でもご活躍の松尾葉子先生が、
ご多忙にもかかわらず我々の熱い思いに応えてくださり、
本日の合同ステージの指揮を快くお引き受けくださいました。
本当に感謝致しております。
さあ！男声合唱ジョイントコンサートの幕開けです。
心をこめて歌います。どうぞご一緒に楽しんでください！

2006年6月4日

実行委員長 三ツ松 平
(グランフォニック)

合唱といえば「男声」の力強いあの響が思い浮かぶという方は多いでしょう。大学合唱団を始めとして戦後まもなくから日本の合唱界をリードしてきた男声合唱ですが、一時期活動が停滞している感が否めませんでした。しかし最近になり全国各地で「男声合唱の集い」が賑やかに華やかに開催されるのを耳にするようになりました。最近新聞等で団塊の世代の定年ということが話題になっておりますが、これまで仕事一筋に頑張ってこられた方々が、余暇の時間を趣味の合唱に力を注いでいることが多いかと思います。そういう時期に名古屋の地においても男声合唱団によるジョイントコンサートが開催されるということは非常に意義深いことだと思われます。これを機会にぜひ若い方々とも一緒に、魅力的な男声合唱の世界をつくっていって頂きたいと思います。

最後になりましたが、各団の演奏はもとより松尾葉子さんの指揮による合同演奏もきっと素敵な演奏になることでしょう。演奏会の成功をお祈り申し上げます。

愛知県合唱連盟理事長 長谷順二

～Program～

I. 男声合唱団「響」

黒人靈歌より

1. The battle of Jericho (ジェリコの戦い)
2. Sometimes I feel like a motherless child (時には母のない子のように)
3. Soon-a will be down (もうすぐに終わる)
4. Deep river (深い河)
5. Set down servant (静まれ、人々)

指揮：後藤行央

II. 男声合唱団「昴」

男声合唱組曲「なんなん ななつの」

- I. もうすぐ春
- II. なんなん ななつの
- III. 夏みかん
- IV. 生まれたばかりの
- V. きつねの嫁入り

磯部 俊 作曲
宮澤章二 作詞

指揮：樅山英機

III. SINGERSなも

オリジナル編曲シリーズ第VI弾～昭和歌謡大全集－女性歌手編－より～

1. 恋のバカンス
2. 時の流れに身をまかせ
3. あの鐘を鳴らすのはあなた
4. 恋の季節
5. 津軽海峡・冬景色

指揮：片桐 真
片桐一篤ピアノトリオ

—————(休憩 15分)—————

IV. クール・ジョワイエ

ジョスカン・デ・プレの作品

- O Jesu, fili David (おおイエス、ダヴィデの息子)
- Ave Maria (アヴェ・マリア)
- La déploration de Johannes Ockeghem (オオゲムの死を悼む挽歌)

指揮：高須道夫

V. グランフォニック

男声合唱組曲「水のいのち」

高田三郎 作曲
高野喜久雄 作詞

1. 雨
2. 水たまり
3. 川
4. 海
5. 海よ

指揮：向川原慎一
ピアノ：早瀬洋子

—————(休憩 10分)—————

VI. 合同演奏

莊嚴ミサ曲より

デュオーバ 作曲

Kyrie
Credo

指揮：松尾葉子

I 男声合唱団「響」

黒人靈歌 より

16世紀、植民地アメリカを開拓する労働力補給のため、多くの黒人たちがアフリカ各地から奴隸としてアメリカに連れてこられました。奴隸たちの生活は救いのない惨めなものでありました。彼らの主人である白人たちは、宗教を利用し死後の世界の“完全に精神的な幸福”を教えたのです。英語を読めない奴隸たちは牧師の説教からのみ、つまり“音”として聖書を学びました。先天的に音楽感覚の鋭い黒人は、それを“音”として再生しました。それが黒人靈歌（Negro spiritual）です。

黒人たちは、spiritualを歌うことによって敬虔なそして時には熱狂的な宗教的感激、法悦を感じ肉体的にも精神的にも現世での苦悩を逃れていたのです。spiritualは文字通り魂の叫びであり、深い心からの感動の裏づけを持つ歌なのです。また、19世紀末から20世紀はじめにかけて、ジャズの誕生と発展に大きな影響を及ぼした点（特にリズム）も見逃すわけにはいきません。

対訳

1. The battle of Jericho (ジェリコの戦い) 編曲：Marshall Bartholomew

ユダヤ民族をエジプトの圧迫虐待から解放したモーゼの遺志を継いだジョシュア（ヨシュア）は、多くの同胞をひき連れてエジプトから故国イスラエルへと向かいました。数々の苦難と戦って約40年後にやっとイスラエルに着きますが、その最後の難関がジェリコ（エリコ）城砦の戦いです。彼が人々に羊の角笛を吹かせるとトランペットが響き渡り、彼の命令で人々が神の栄光を大声で叫ぶと堅固な城壁が崩れ落ちついに勝利を収めることができたという旧約聖書の物語を歌にしたのがこの曲です。

2. Sometimes I feel like a motherless child (時には母のない子のように) 編曲：福永陽一郎

「時には母のない子のような気持ちがする。遠く家を離れていると・・・」胸をしめつけられる程悲しく、そして美しい黒人靈歌です。遠く故郷を離れて異郷に辛い労働を強いられる黒人の母を失った子どものような心細さ、寂しさと悲しさ、切ない郷愁の念がごくシンプルな詩とメロディーの中にあふれています。

3. Soon-a will be down (もうすぐに終わる) 編曲：福永陽一郎

「辛いことはもうすぐに終わる。私はイエスさまと懐かしい故郷に帰ることができるのだ。そうすればもう悩みごとは何もなくなる・・・」と歌われます。

4. Deep river (深い河) 編曲：福永陽一郎

かなり古くから世界的に知られ、クラシック音楽の分野でも盛んに歌われていた黒人靈歌です。「深い河、私の家はヨルダン河の彼方にある。深い河、おお主よ私は河を越えてあの懐かしい土地へ行きたい・・・」と歌われます。

5. Set down servant (静まれ、人々) 編曲：横山 昭

Servantには“召使い”的意味もあり、歌の題名を「ひざまずけ！召使いよ」と訳すのもあります。従順を強要する白人に対する抵抗の歌です。「神はわれわれに白の長いローブ（服）や靴を与えてくれると約束した」と、神への希望にすがる気持ちも歌っています。その希望がある限り幸福であり白人にひざまずかないと歌います。

Profile

指揮者 後藤行央



愛知大学男声合唱団にて2年生の時に指揮者デビュー。卒業後、マイン・リートの指揮者を経て現在に至る。

男声合唱団「響」創団当時からの指揮者の一人で、毎週の練習では技術指導のイニシアティブを執る。

ピアノで音を出しても違う音を歌い、楽譜を見ていても歌詞を間違える団員の前に立ち、優しく厳しく辛抱強く曲作りを行う。

昨年1月から東京に転勤するも、「響」のため、週末に名古屋に戻ってくる姿はまさに「マエストロ」である。

練習では厳しいマエストロも、素顔に戻れば「赤ワイン」と「釣り」をこよなく愛する普通の人である。

男声合唱団「響」

1985年11月10日に行われた第1回愛知七大学男声合唱連盟演奏会の会場で、「男声合唱団を作ろう」なる怪しいチラシがばらまかれた。大学で4年間、男声合唱をやったのに、そのままやめてしまうのはもったいない！何とか続けられないものか。その趣旨に賛同した者が集まってできたのが、男声合唱団「響」です。その後、男声合唱をこよなく愛する者を仲間に迎え入れ、活動も21年目に入りました。合唱祭、合唱コンクール、年1度の定期演奏会をベースに、ともかく歌える場（結婚披露宴、万博、リトルワールド、邦楽とのジョイントなど）があつたらどこでも歌いに行くが、基本スタンスです。

男声合唱を愛する意気込みはどこにも負けない自負はありますが、如何せん楽譜が読めないなど、音楽の基礎知識が少ない所が弱点です。職場でのストレスが多いのか、「p（ピアノ）」の部分も大声で歌ってしまう団員がいまだに多いです。しかしこんな団員を指揮者が辛抱強く鍛えた成果が少しづつ表れてきたのか、2年連続で愛知県合唱コンクール金賞、中部合唱コンクールで銀賞をいただきました。「響」は今、進化の真っ只中といったところでしょうか。

最後にお知らせです。12月2日に、しらかわホールで第20回定期演奏会をおこないますので、こちらもよろしくお願いします。

メンバー

TOP	SECOND	BARITONE	BASS
浅井 彰英	石井 猛	鬼塚 俊夫	金柿 伴典
石原 崇	大久保康二	北折 正比古	黒田 修
宇野 信昭	戸松 昌門	稟田 正識	甲元 昇一
柴田 康雄	牧坂 浩之	杉山 優人	柴田 一仁
祖父江秀明	毛利 広直	寺西 毅	志水 武夫
中村 登	森 善弘	鳥本 寛	中根 祐史
古田 治	山羽 修平	中武 孝介	花木 俊博
三品 壮登		矢田 丈士	前田 政直

Ⅱ 男声合唱団「昴」

男声合唱組曲「なんなん ななつの」

磯部倣 作曲 宮澤章二 作詞

磯部倣作曲、宮澤章二の詩によるこの無伴奏男声合唱組曲は、作曲者が主催する「いそべとし男声合唱団」のため、肩のこらない、楽しんで歌える曲として1979年書かれた。

こともの歌が好きで落語ファンでもあった作曲者は、「な」の音にからめた語呂あわせの、ことばあそび的な趣と日本のわらべうたを連想させる言葉の響が一番気に入り、この曲名が組曲の名前につけられた。

I.もうすぐ春

夜ふけの 土蔵 の 白壁に
お月さんがだまって うつして
ちらほら ひらいた 淡い影
なんだろ なんだろ 梅の花だよ
けれど だあれも 見にこない
お月さんの映画を 見にこない
もう すぐ すぐ すぐ 春なのに

夜ふけの 小川に 張る氷
お月さんがひとりで うつして
ちらほら 芽をふく 細い影
なんだろ なんだろ ねこ柳だよ
けれど だあれも 見やしない
お月さんのテレビを見やしない
もう すぐ すぐ すぐ 春なのに

II.なんなん ななつの

なきむしどうしの なかよしが
ならんで あそんだ なみだ川
なんなん ななつの なきぼくろ
なにゆえ いまごろ なつかしい

ななくさ なの花 なしの花
なすびの むらさき 夕あかね
なんなん ななつの 夏まつり
ないしょの願いは 草のつゆ

なきむしどうしの なかよしに
ながれた としつき ちぎれ雲
なんなん ななつの なつめの木
なんにも いわずに 実をつけた

III.夏みかん

すっぱい すっぱい 夏みかん
まだまだ若いよ まだ若い
それゆえ すっぱい 夏みかん
だまって すまして
にらめっこしてる
アップップ アップップ
育ちざかりの まるい顔
ニキビが出た出た ほーら 出た

すっぱい すっぱい 夏みかん
もうもう年だよ もう年だ
それでも すっぱい 夏みかん
だまって ふくれて
にらめっこしてる
アップップ アップップ
年増ざかりの まるい顔
アクビが出た出た ほーら 出た

IV.生まれたばかりの

生まれたばかりの みみずの子
生まれたばかりの もぐらの子
これが お家か おお くらい

生まれたばかりの からすの子
生まれたばかりの とんびの子
風が 吹きます おお さむい

生まれたばかりの おさるの子
生まれたばかりの たぬきの子
山の 日暮れは おお こわい

まったく 世間は さまざま
それでも 生まれてみなければ
この世の不思議が わからない

V.きつねの嫁入り

きつねの嫁入りは 秋の夜
すすき かるかや おみなえし
野道は細いよ さびしいよ
　ちょうちん つけろ
　もっと もっと つけろ
青い ちょうちん つけろ

きつねの お嫁さんは
　コンコン せきをする
きつねの お婿さんも

コンコン せきをする
はやり風邪でも ひいたのか
　いえいえ きつねの ご挨拶
　コンコン こんばんは

きつねのコン札は いつ果てる
どうせ 夜長のことだから
今夜は よっびて 無礼講
　きつね火 もやせ
　もっと もっと 燃やせ
青い きつね火 燃やせ

JASRAC (出) 許諾第0606221-601号

Profile

指揮者 横山英機



1965年 名古屋大学経済学部卒業
在学中名古屋大学男声合唱団指揮者をつとめる
1965年 名古屋労音コーラス入団
1976年 名古屋市民コーラスに改名
以降現在に至るまで団内指揮者をつとめる
現 在 市民の第九コンサート合唱指導
愛知合唱協会理事

男声合唱団「昂」

“合唱の原点はアカペラ”を旗印に仲間が集まり平成11年1月結成しました。8年目を迎えるメンバーも増え平均年齢も69.6歳となっていますが、純正律の持つ和音の美しさにこだわりを持ち、発声訓練に励み、親しみやすい日本や世界のアカペラ男声合唱曲の醍醐味を楽しんでいます。

練習日は月曜日の夕方ですが、休日と重なるときは昼間に変更し、練習後団員相互の親睦のため「飲んで歌っての会」を楽しんでいます。演奏会への参加は、2002年四つの男声合唱団による「梅雨の晴れ間のコンサート」、2004年「青と昂のコンサート」につづき今回が3回目です。

本日は発足以来指揮・指導して頂いた山田正明氏が急な病で一時静養が必要となったため、氏の後輩である横山英機氏に指揮をお願いしました。

メンバー

T 1、大池 廣、足立幸雄、小山恒生、志田勝久、松尾純一、山田芳美、横井保夫
T 2、香取康夫、岩見雅夫、岩元淳一、江口允春、近藤節夫、酒井哲夫、鈴木啓之
B 1、藤野倫男、天野 浩、伊藤弘一、伊藤泰氏、大原 功、片山正之、菅井昭三
　戸田省二、野崎民夫
B 2、近藤 実、大橋正佳、高木 桂、高田 刎、古山昌斌、水野晴允、吉信 孝

ホームページ：<http://www.geocities.co.jp/MusicHall/5939>

連絡先：Tel&Fax052-804-2070（酒井）、定期練習：毎週月曜日18：30～20：45

練習会場：中部電力東桜会館（地下鉄新栄、高岳両駅から徒歩5分）会費：月2000円

III SINGERSなも



オリジナル編曲シリーズ第VI弾 ~昭和歌謡大全集—女性歌手編—より~

[編曲：阿部恒憲]

1. 恋のバカンス（詞：岩谷時子／曲：宮川 泰／ザ・ピーナッツ）

1963年（昭和38年）、ザ・ピーナッツにより大ヒット。作曲の宮川泰はピーナッツの育ての親として有名なばかりでなく、「宇宙戦艦ヤマト」の作曲家としてとみに有名。マツケンサンバの作曲で有名な宮川彬良氏は長男。親子揃って音楽のセンスは言うまでもなく、お笑いのセンスも抜群である。

2. 時の流れに身をまかせ（詞：荒木とよひさ／曲：三木たかし／テレサ・テン）

1984年の「つぐない」、85年の「愛人」に続く86年のテレサ・テンのミリオンヒット曲。彼女は1974年に「空港」というヒット曲を出しているが、その後偽造旅券が発覚して国外退去となり、再来日までには10年の時間を要した。彼女の曲はほとんど、荒木とよひさ・三木たかしのコンビで作られている。

3.あの鐘を鳴らすのはあなた（詞：阿久 悠／曲：森田公一／和田アキ子）

1972年のヒット曲。同年の日本レコード大賞最優秀歌唱賞受賞曲。和田アキ子最大のヒット曲。2005年にはサンボマスターがカバーして話題になった。

4.恋の季節（詞：岩谷時子／曲：いずみたく／ピンキーとキラーズ）

1968年7月に発売されるや、ダービーハットと印象的な振り付け、ピンキーの抜群の歌唱力で240万枚を売り上げ、その年の新人賞を総なめにした。

5.津軽海峡・冬景色（詞：阿久 悠／曲：三木たかし／石川さゆり）

1973年にアイドル路線でデビューした石川さゆりだったが、花の中3トリオの陰に隠れて日の目を見なかつたが、4年目に演歌に路線変更したところ、この作品で大ブレーク。以降は「能登半島」「天城越え」と大ヒットを連発し、演歌の女王となる。

Profile

SINGERSなも

1989年の発足当時からのメンバーである片桐真氏を常任指揮者に、多田武彦などの伝統的男声合唱曲のほか大中恩、木下牧子などの現代合唱曲に加え、合唱に馴染みのない方々にも楽しんでいただけるように、ジャンルを問わずみんなが知っている曲を歌う合唱団を目指して17年になります。

1990年の第1回定期演奏会以来、男ばかりの合唱ミュージカル、ビートルズ、井上陽水、スタンダードジャズのほか、第9回定演からは美空ひばり、山口百恵、昭和のレコード大賞、服部良一、筒美京平などの楽曲を男声合唱にアレンジし、“オリジナル編曲シリーズ”として毎回初演し、好評を得ています。

団名“SINGERSなも”的「なも」は名古屋弁の“～なも”。大人の男性にしか出せない“色気”を表現することが、私たちの目指す“なもトーン”です。

2006年11月11日（土）しらかわホールで行われる第16回定演では、木下牧子の委嘱作品を初演する予定です。どうぞお楽しみに！

メンバー

T1 池田 潔	T2 安藤 良雄	B1 今村 隆仁	B2 伊藤 鑛
上川 英俊	伊澤 忠男	岩本 昭人	太田 勝洋
北村 秀博	上野 泰治	岡本 太郎	加藤 守人
佐々木鷹志	倉野 靖男	尾関 陽一	黒谷 正樹
佐野 晴男	児嶋 宏之	片桐 真	佐々木健証
高垣 敏昌	関 長松	是澤 宣治	澤野比呂志
橋本 慧	真野 傑人	下出 啓介	徳田 宏
前田 博也	吉富 孝一	中山 泰弘	徳永 恭
四ツ谷昌彦	脇田 伸也	林 高弘	中野 亮
		藤田 裕久	山田 正広

●指揮者／片桐 真



SINGERSなも発足当初からのメンバーで、第8回定演（1998年）から指揮を担当。幼少の頃から能楽に親しむなど、洋の東西を問わず音楽に対する造詣は深い。歌詞とフレーズを大切にし、「歌って聞かせる」その指導は年長のメンバーも唸るほどの説得力がある。

南山大学メイルクワイヤー学生指揮者として活躍。現在私立東海中学・高等学校英語科教諭として教鞭を振るい、東海高校男声合唱団顧問のほか、名古屋、桑名の合唱団を指導している。

●編曲者／阿部恒憲

大学在学中にアカペラコーラスに出会い、卒業後BabyBooでプロとして2年間活動。その後ボストンのバークリー音楽院で学ぶ。現在、音楽院で知り合った仲間と結成したコーラスグループ“Syncopation”のリーダーとして、全米を中心に活躍している。

●片桐一篤ピアノトリオ

“SINGERSなも”とは第11回定演以来6年目のお付き合いです。いつも素晴らしい演奏をして下さり、私たち一同とても頼りにしている方々です。

-ピアノ／片桐一篤

1966年岐阜市出身。ジャズピアノトリオのリーダーとして、名古屋を中心にライブ、イベント、劇場公演等で活躍。NHK名古屋・ピアノ&シンセサイザー奏者として『NHKのど自慢』でも演奏している。

-ベース／片桐 准

1968年岐阜市出身。ピアノ片桐一篤氏の実弟。ポップス、ジャズ、シャンソン、歌謡曲等のスタジオワーク、イベントなど多岐に渡って活躍中。

-ドラム／砂掛裕史朗

1972年名古屋出身。米国・カリフォルニアの音楽学校在学中に一流ミュージシャンとの共演。帰国後は東京、大阪、名古屋でライブやスタジオワーク等で活躍している。

第16回定期演奏会のご案内

- ・とき：平成18年11月11日(土) 18:00開演予定
- ・ところ：しらかわホール
- ・演奏曲目：
 - I. Negro Spirituals
 - II. 木下牧子委嘱作品新曲初演
 - III. なも“オリジナル編曲シリーズ” 第VII弾～昭和歌謡大全集—女性歌手編—より～

○SINGERSなも関連CD・楽譜情報

- <CD>「恋のない日 木下牧子 男声合唱作品集」発売元：クラシック音楽CDの専門店－ジョヴァンニ
<楽譜>ポピュラーコーラスシリーズ「ひばりコレクション」／「PLAYBACK momoeコレクション」
発売元：サニーサイドミュージック <http://www.sunnysidemusic.co.jp/>

連絡先

- ・中山泰弘 TEL 0565-31-1526 FAX 0565-33-3850 E-MAIL y-n@mx.d.mesh.ne.jp
- ・Home Page <http://www.geocities.jp/singersnamo/index.html>

IV クール・ジョワイエ

ジョスカン・デ・プレ（1440年頃?～1521年）の作品

ジョスカンはルネサンス中期の最も偉大な作曲家の一人で、15～16世紀フランドル楽派最大の作曲家と賞せられた。その生涯は未だ不明な部分が多いが、1459年の記録から当時ミラノの大聖堂聖歌隊員だったといわれる。生涯の半分程をイタリアで送り、作品から感じ取れる明確かつ簡潔な印象は、このイタリア生活が関係しているとも考えられている。

ジョスカンはミサやモテトゥスなどの宗教曲ばかりでなく、フランス語によるシャンソンや、イタリア語による世俗歌曲など、当時のほとんどのジャンルで作品を残し、かつ作曲様式に新しい手法を加えた。そのひとつが「通模倣様式」と呼ばれ、各声部が互いに模倣し合いながら独自の旋律を展開する、つまり、ある特定の声部だけが重要になるのではなく、全ての声部が等しく重要な役割を受け持つ手法である。これは、それまで定旋律が1声部にのみにおかれていた「循環ミサ」を発展させたものである。

O Jesu,fili David（おおイエス、ダヴィデの息子）

「おおイエス、ダヴィデの息子」は、「どうして喜べるのか」の歌詞をもつシャンソンと同じ旋律にラテン語の歌詞をつけた曲である。第4声部のオクターヴにわたる下降の順次進行ではじまり、各声部のカノンによって曲が進んでいく。特に注意深く聴いていくと、第1声部と第3声部は、終わりの3小節を除いてオクターヴのカノンになっているのに気づかれるだろう。

Ave Maria（アヴェ・マリア）

「アヴェ・マリア」はジョスカンの代表作としてばかりでなく、ルネサンス音楽の最高傑作の一つともいわれる。これは語学や歴史などの教師で音楽理論の研究家としても知られるグラレアヌスが、その著作である「ドデカコルドン」で、この曲をルネサンス音楽の理想的な作品として紹介したことによる。言い換れば「通模倣様式」の理想例と示したともいえるだろう。ジョスカンはもう1曲、4声の「アヴェ・マリア」をグレゴリオ聖歌のアンティフォナを素材として作曲しているが、本日演奏する「アヴェ・マリア」は1200年頃には成立していた思われるセクエンツィアで、マリアの受胎、生誕、お告げ、お清め、被昇天が歌われる。冒頭の4声による8度のカノンで始まり、通模倣様式による上2声と下2声が対話を交わしながら歌われ、中間部の3拍子の部分と最後はホモフォニー手法が用いられている。

La déploration de Johannes Ockeghem（オケゲムの死を悼む挽歌）

この「アヴェ・マリア」が作曲されたと考えられている1497年、多くの音楽家に師と慕われたオケゲムが世を去った。その死を悼み書かれた詩のひとつが、このモリネによるもので、ジョスカンは5声の曲をつけた。この曲では、グレゴリオ聖歌のレクイエム（死者のためのミサ）の冒頭が、定旋律としてテノル声部（本日の演奏ではバリトン）に引用されている。筆写譜は、喪服を示すようにほぼすべての音符が黒く塗られている。また最後の「Requiescant in pace. Amen」の部分は64個の音符で書かれているが、これは「Ockeghem」のアルファベットを数字に置き換えた数の合計である。なお、資料によつて歌詞が若干異なるが、本日はメディチ家写本を基にした楽譜で演奏する。

Profile

指揮者 高須道夫



1965年東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。竹本正俊、伊藤亘行両氏に師事。
1982年名古屋市芸術奨励賞受賞。名古屋芸術大学名誉教授、愛知県合唱連盟顧問、日本发声指導者協会会員。クール・ジョワイエのほか女声合唱団SKOLION、合唱団みどりを指揮。

クール・ジョワイエ

1971年10月に10数名のメンバーで創立。以来、高須道夫を常任指揮者に迎え、一貫して「良い音楽」を求めてきた。選曲方針として、(1) ヨーロッパの音楽的中心地で時代を遡った作品、(2) ヨーロッパの音楽的中心地から地理的に離れた国の作品、(3) 日本の作品を掲げており、新作の委嘱にも取り組んでいる。委嘱作品として、三善晃「いのちのうた」「へんしんのうた」、戸島美喜夫「もどりうた」「いくさ三題」がある。また、地元での活動も重要な方針とし、各種イベントやオペラ公演にも積極的に参加している。

1985年愛知県文化選奨文化賞受賞、1985年、1986年、1987年、1988年、1997年に全日本合唱コンクール全国大会一般の部金賞受賞。

メンバー

* Top Ten.	* Second Ten.	* Bariton	* Bass
山口 力	鈴木 紘仁	柴田 富造	中野 淳司
浅井 裕之	萩野 忠義	山本 秀一	伊藤 健太郎
福本 忠弘	津田 孝治	榎原 惣一郎	太田 成夫
川井 基義	松本 茂生	原 定夫	森田 伸二
吉村 宏之	澤田 正浩	小松 真吾	武内 康展
河合 伸和	中武 英樹	鈴木 章照	高橋 敏明
村瀬 大典	山田 仁	鈴木 洋二	横川 享市
石間 早翔	本多 晶	守屋 耕一	金森 裕志
	石野 光明	平林 雅大	国広 篤史
	小川 博	加藤 一人	
	川口 昂彦		

団員募集・コンサートのお知らせ

常任指揮者 高須道夫 副指揮者 高橋寛樹
練習日：毎週木曜日 19:00～21:30
場所：名古屋市音楽プラザ（名古屋市中区金山）など
お問合せ先：山口 Tel 070-5642-2844
2006年9月3日14:00 しらかわホール
西村朗による合唱作品一大手拓次の詩による三部作—演奏会
「まぼろしの薔薇」男声、「そよぐ幻影」混声、「秘密の花」女声

V グランフォニック

男声合唱組曲「水のいのち」

高田三郎 作曲

高野喜久雄 作詞

「水のいのち」は作曲家高田三郎の合唱組曲の代表作であり、合唱経験者で知らないものはいないほど歌い継がれ、親しまれている名曲である。この組曲は近代フランス音楽の影響を受けた高田三郎の思いが蒸留、生成され、滴り落ちる純粋な一滴一滴からなる作品ともいえる。その純粋さ、優しさゆえ、歌うもの聞くもの双方に深い喜びと感動を与える作品である。その根底には高田作品が「初めに言葉ありき」と評されるように、詩に対する研ぎ澄まされた視点があり、この作品でも詩人高野喜久雄の理念、情感を一人の詩人の精神的宇宙としてすくい上げている。ここに音楽と詩が渾然一体となった“高田三郎の世界”が現出している。なお、詩人高野喜久雄氏は先月78歳の生涯を閉じられました。ここに謹んで哀悼の意を表し歌い上げます。

1 雨	2 水たまり	3 川	4 海
降りしきれ 雨よ	わだちの くぼみ	うつした空の	空をうつそうとして
降りしきれ	そこの ここの	青さのように	波一つなく 風ぐこともある
すべて	くぼみにたまる	澄もう と苦しむ	岩と混じれなくて
立ちすくむものの上に	水たまり	小さなこころ	ひねもす
また	流れるすべも めあてもなくて	うつした空の	たけり狂うこともある
横たわるもののに	ただ	高さのままに	
	だまって	在ろう と苦しむ	しかし
降りしきれ 雨よ	たまるほかはない	小さなこころ	凡ての川はみな
降りしきれ	どこにでもある 水たまり		そなたをさして常に流れた
すべて	やがて	何故 さかのぼれないか	底に沈むべきものは沈め
許しあうものの上に	消え失せてゆく	何故 低い方へゆくほかはないか	空にかえすべきものは
また	水たまり		空にかえた
許しあえぬものの上に	わたしたちに肖ている		
	水たまり	よどむ淵 くるめく渦のいらだち	人でさえ 行けなくなれば
降りしきれ 雨よ		まこと 川は山にこがれ	そなたを さしてゆく
わけへだてなく	わたしたちの深さ	きりたつ峰にこがれいのち	そなたの中の 一人の母を
涸れた井戸	それは泥の深さ	空の高みにこがれいのち	さしてゆく
踏まれた芝生	わたしたちの言葉		
こと切れた梢	それは泥の言葉	山にこがれて 石をみごもり	そして そなたは
なお ふみ耐える根に	泥のちぎり	空にこがれて 魚をみごもる	時経てから 充ち足りた死を
	泥のうなずき	さからう石は 山の形	そっと岸辺にうち上げる
降りしきれ	泥のまどい	さかのほる魚は 空を耐える	見なさい
そして 立ちかえらせよ			これを見なさい と云いたげに
井戸を井戸に	だが	だが やはり 下へ下へと	
庭を庭に	わたしたちにも	ゆくほかはない 川の流れ	5 海よ
木立を木立に	いのちはないか		
土を土に	空に向かう	おお 川は何か	ありとある 芥
	いのちはないか	川は何かと問うことを止めよ	よごれ 疲れはてた水
おお すべてを	あの水たまりの にごった水が	わたしたちもまた	受け容れて
そのものに	空を うつそうとする	同じ石を 同じ魚をみごもるもの	すべて 受け容れて
そのものにてに	ささやかな	川のこがれを こがれ生きるもの	つねに あたらしくよみがえる
	けれどもいちばないのちはないのか		海の 不可思議

休みない 汀	そして 深く暗い 海の底では	そなたは いつも 始まりだ	のぼれ のぼりゆけ
波の指 白い指 くりかえし	下から上へ まこと下から上へ	おお 空へ	みえない つばさ
うます くりかえし	雪は 白い雪は 降りしきる	空の高みへの 始まりなのだ	いちずな つばさ
億の砂 億の小石を			あるかぎり
数えつづける	おお海よ	のぼれ のぼりゆけ	のぼれ のぼりゆけ
海の不可思議	たえまない始まりよ	そなた 水のこがれ	おお
	あふれるに みえて	そなた水のいのちよ	
くらげは 海の月	あふれる ことはなく		
ひとでは 海の星	終わるかに みえて	たとえ 己の重さに	
海螢 海の馬 空にこがれ	終わることもなく	逆らいきれず 雲となり	
あこや貝は 光を抱いている	億年のむかしも いまも	また ふたたび降るとしても	

JASRAC (出) 許諾第0606221-601号

Profile

●グランフォニック/1994年5月、名古屋市でコンサートが行われた。主催は東海クローバークラブ（同志社グリークラブの東海地区のOB会）であり、そこに慶應義塾ワグネルソサイエティー男声合唱団、関西学院グリークラブ、早稲田大学グリークラブの東海地区在住のOBが加わり、グランフォニックの前身である「東西四大学OB合唱団東海」が産声を上げた。その後2000年10月に「グランフォニック」と改称、四大学以外のメンバーも加わり、現在は50余名の団員で、週一回の定期練習と月一回の強化練習を行っている。わが団は、「グランフォニック商事」というバーチャルカンパニーの形態で経営されている。経営理念は「歌を通じて生きる喜びを感じ、伝えること」であり、経営方針として、「より高度な水準の男声合唱を目指す」、「創作・編曲に限らずオリジナル作品を必ず発表する」、「ドイツ語の曲をキチンと歌う」を掲げている。



●向川原慎一（指揮）/早稲田大学第一政治経済学部卒業。在学中及び卒業後に指導・在籍した男声・女声・混声合唱の多くの合唱団で指揮や演奏に多くの経験を重ね、各団体のための編曲や作曲も行ってきた。現在は男声合唱団グランフォニックをはじめとしていくつかの団体の指揮やアカペラ講座の指導、及びクラシックからポピュラーまで幅広いジャンルの作曲・編曲などの音楽活動を続けている。2002年からは多感で繊細な金子みすゞの一連の詩に取り組み、これまでに三十数曲の独唱曲と女声合唱曲を作曲。その一部はCD録音と楽譜として発表している。小林研一郎氏に師事。



●早瀬洋子（ピアノ伴奏）/学生時代より伴奏者として活躍、名古屋二期会を始めとして名古屋オペラ協会や文化振興事業団など愛知・岐阜・三重の各種オペラ団体にて長年、オペラ・ミュージカルの練習ピアニスト、コレベティトゥア、副指揮者を務める。現在、名古屋芸術大学実技助手。グランフォニックの伴奏者として招かれて5年目となる。

★定期演奏会のお知らせ
 日時 2006年11月11日（土）
 場所 名古屋市民会館中ホール
 演奏曲目
 ◆Liebes Lieder (ブラームス)
 ◆ミュージカル「学生王子」
 いずれも指揮：向川原 慎一
 ◆水のいのち
 指揮：畠中良輔<客演>
 朗読：伊藤京子

●メンバー/

T 1 / 伊藤高潤 岡本達幸 鹿住 誠 片田保彦 神谷立正 小林 武 佐々木正義 田中良夫（団長） 常川 浩 早矢仕英史 藤田東一 三ツ松平 山下純也
T 2 / 新谷岳史 飯田公男 石井 清 伊東健光 井上恵太 佐藤 正 柴田道昭 中村嘉夫 林 功 三ツ口勝弥 森重雅夫 吉居 清
B 1 / 浅野憲一郎 伊藤慎二 神田久嗣 寺島正晃 永井一美 中田 聰 長谷川利孝 細江太喜雄 水野邦明 安田俊哉 早澤信昭
B 2 / 浅井良之 浅田 宏 犬塚弘道 井ノ口貴敏 外村俊夫 富田敏夫 林 和宏 福澤慶太 藤山祐司 古田和則 間瀬裕士 松原成憲 村井襄介

●ホームページ/www.granphonic.com/ 連絡先 細江太喜雄（幹事長） 090-1244-2234

VI 合同演奏 莊厳ミサ曲より

デュオーパ 作曲

作曲者アルベール・デュオーパ（1832生・1896没）はフランス、アルトワ地方のアラスという町に生まれました。幼い頃から父エミールに音楽を学び、パリ音楽院ピアノ科を卒業して後18歳で故郷に戻り、父の跡を継いでアラス大聖堂のオルガニスト兼聖歌隊長を生涯にわたって務めたということです。その傍ら、当時フランス全土で盛んであった男声合唱運動、オルフェオンの指導者を務め、その活動の一つとして莊嚴ミサ曲を創り、1869年に自らの指揮で初演を行いました。因みに、この莊嚴ミサ曲はローマ法王庁の高官でオルフェオン活動の良き理解者であったオーヴェルニュ公に捧げられています。

デュオーパの創作活動や演奏活動については残念なことによく解っていません。パリ国立図書館にはデュオーパの作品が10数曲保管されているとのことです、いずれも易しい小品で、宗教音楽家、男声合唱指導者としての彼の事績は今日では失われてしまっているようです。

この莊嚴ミサ曲は、関西学院グリークラブが1948年のリサイタルで先ずキリエを初演し、次いでその年の第1回全日本合唱コンクールでこの曲をもって第1位の栄冠に輝きました。その後、翌1949年のリサイタルで全曲の初演がなされ我が国の合唱界に宗教音楽の名曲として評判を呼びました。正統的な男声四声体で書かれた人声オルガン、人声オーケストラと呼ぶべき壮麗な響きに満ちた、全曲40分を超す大曲、今回はその中から、キリエとクレドの2曲を演奏します。

Kyrie = キリエ

Kyrie eleison. Kyrie eleison. Kyrie eleison.
主よ、あわれみ給え。主よ、あわれみ給え。主よ、あわれみ給え。

Christe eleison. Christe eleison. Christe eleison.
キリストよ、あわれみ給え。キリストよ、あわれみ給え。キリストよ、あわれみ給え。

Kyrie eleison. Kyrie eleison. Kyrie eleison.
主よ、あわれみ給え。主よ、あわれみ給え。主よ、あわれみ給え。

Credo = クレド

Credo in unum Deum, Patrem omnipotentem.
信じます。唯一なる神を、全能の父を。

factorem coeli et terrae, visibilium omnium, et invisibilium.
天と地、全ての目に見えるものと目に見えないものを神が造られたことを。

Et in unum Dominum, Jesum Christum, Filium Dei unigenitum.
そして、唯一なる主を。イエスキリストが神のひとり子であることを。

Et ex Patre natum ante omnia saecula.
そして万世に先んじて父の御子として現れたことを。

Deum de Deo, lumen de lumine, Deum verum de Deo vero.
神たる神、光たる光、真実の神たる真実の神。

Genitum, non factum, consubstantiale Patri; per quem omnia facta sunt.
父により造られた全てのものの中より、父と一体となって、造られずして現れたことを。

Qui propter nos homines, et propter nostram salutem descendit de celis
あなたはわれら人類のために、我らをお救いくださるため、天より降りられたことを。

Et incarnatus est de Spiritu Sancto ex Maria Virgine; Et homo factus est.
そしてあなたは処女マリアより聖霊によって現れこの世の人となられことを。

Crucifixus etiam pro nobis, sub Pontio Pilato passus, et sepultus est.
ポンテオ・ピラトのもと真実我らがため十字架に付けられ、苦しみを受け、そして埋められたことを。

Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.
そして聖書に書かれていたとおり、三日後によみがえられたことを。

Et ascendit in coelum; sedet ad dexteram Patris.
そして天に昇り、父の右に座し給いしこと。

Et iterum venturus est cum gloria, judicare vivos et mortuos.
そして栄光とともに再びこの世に降り立ち、生かすべきものと死すべきものとに審判を下すことを。

cuju regni non erit finis.
主の治世は終わることなし。

Et in Spiritum Sanctum, Dominum et vivificantem: qui ex Patre, Filioque procedit
聖霊と聖なるものと主と、そしていのちを与えしものを。あなたは父より出でて御子となつた。

Qui cum Patre et Filio simul adoratur, et conglorificatur qui locutus est per Prophetas.
預言者によって語られたとおり、あなたは父とともにあって、父の子として畏れられ、拝められた。

Et unam sanctam catholicam et apostolicam Ecclesiam.
唯一なるもの、聖なるもの、普遍なるもの、そして使徒継承の教会を。

Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum.
罪の赦しのためとしての唯一の洗礼を受け入れ誓います。

Et exspecto resurrectionem mortuorum. Et vitam venturi saeclii. Amen
そして死者の甦りとやがて来る世を待ち望みます。アーメン。

Profile



松尾葉子（指揮者）

Yoko Matsuo, Conductor

2004年4月～ セントラル愛知交響楽団 首席客演指揮者

1999年～2004年 セントラル愛知交響楽団 常任指揮者

1982年フランスのブザンソン指揮者コンクールで、女性としては史上初めて、また日本人としては小澤征爾に次いで二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集めめた松尾葉子は、実力と人気を兼ね備えた指揮者として着々と地盤を固めている。1998年4月セントラル愛知交響楽団の客演常任指揮者を経て、1999年～2004年は同楽団の常任指揮者に就任し、演奏会のみならず地域活動なども活発に行い、同楽団と中部地域の文化の活性化にも大きな足跡を残した。2004年からは同楽団の首席客演指揮者に就任した。セントラル愛知交響楽団とは、定期演奏会や特別演奏会などで着実に実力を増し評価されるほかに、2000年6月、名古屋能楽堂にて能の演出を用いたモーツアルトの歌劇「ドン・ジョヴァンニ」を行ない話題をさらうなど、意欲的かつ多彩な活動も行なった。2005年には中部国際空港開港式典の指揮、また愛知万博ジャパンデー開幕式典の指揮も務めた。

名古屋生まれ。1975年お茶の水女子大学教育学部音楽科を卒業後、東京芸術大学指揮科を経て同大学院に進み、渡邊暁雄、小林研一郎の両氏に師事。1981年渡仏、パリのエコール・ノルマルでピ埃尔・テルボー氏に師事。

帰國後の1982年に名古屋フィルを指揮して生まれ故郷の名古屋にデビュー。翌年、「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮、絶賛を博した。以後、東京交響楽団、新日本フィル、読売日本交響楽団、日本フィル、新星日本交響楽団など日本の殆ど全てのメジャー・オーケストラを次々と指揮し、高い評価を得ている。

また、オペラ、オペレッタの指揮でも好評を得ており、1985年には文化庁移動芸術祭および関西二期会公演の「メリーワイドー」、1987年は二期会公演「こうもり」、1988年関西二期会公演「カルメン」、「トラヴィアータ」を、1989年には、トーマの「ハムレット」を東京グローブ座にて指揮、1991年二期会公演「メリーワイドー」、1992年二期会公演「こうもり」、1993年大阪カラッジ・オペラハウス「コシ・ファン・トゥッテ」、1996年都民オペラ劇場「ドン・ジョヴァンニ」、1997年「アイーダ」、1998年「天国と地獄」、2000年能演出による「ドン・ジョヴァンニ」など多くの作品を指揮している。

海外でも活躍も多く、1983年にはトゥールーズ室内管弦楽団など数多くのオーケストラを、1985年にはパリ・シャンゼリゼ劇場でラムルー管弦楽団を指揮している。1993年4月には、芦屋交響楽団のヨーロッパ・ツアーに同行、ベルリン、ウィーンにて指揮し大好評を博した。

著書に「指揮者にミューズが微笑んだ」(2003 諭創社)がある。

